

鈴木泉、佐々木、田沼、鈴木千、坂上、加藤太（書記）

議長選任 鈴木泉

議事録署名人の選任 坂上、鈴木千

議案審議

1. H28年度事業報告（佐々木）

- ・原子分子データ応用フォーラムの実施報告があった。
- ・「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査」分科会、SNSの活用に関する作業部会、会報の取材・編集活動を行った。
- ・事業報告は承認された

2. H28年度決算報告（佐々木）

- ・実際の事業規模は130万円くらいある。
- ・当期繰越金は約13万円（正味財産）
- ・決算報告は承認された

3. H29年度事業計画（佐々木）

- ・データ応用フォーラムセミナー開催日程決定
- ・EU-JP Joint Symposium on Plasma Processing協賛を打診
- ・フォーラムホームページでの情報公開
- ・会報で研究室紹介シリーズを開始（首都大 田沼研、電通大 中村研）
- ・事業計画は承認された

4. H29年度収支予算書（佐々木）

- ・収支予算書は承認された

5. 定款の改正

- ・法改正に伴い、貸借対照表のをホームページで公告できるように改正
- ・改正案の修正：（誤）広告 →（正）公告
- ・承認された

6. 役員の改選

- ・理事長：鈴木 泉
- ・副理事長：佐々木明
- ・理事：田沼 肇
- ・監事：小池文博
- ・承認された

7. 会報担当係の選出

- ・担当役員：田沼 肇
- ・担当係：坂上裕之
- ・承認された

8. H29年度のフォーラムセミナーについて

- ・H29年12月20日～22日予定@核融合研
- ・合同研究会として開催
- ・担当役員：佐々木明、鈴木 泉、田沼 肇
- ・担当係：鈴木千尋
- ・承認された

9. 会費の徴収等について

- ・会費徴収のアンケートを実施する
- ・フォーラムセミナーで企業展示を検討してはどうか
- ・企業展示という名目で賛助会員等が参加費を払いやすいというメリットがあるのではないか

- ・会費を研究予算で払うことができる大学もある
- ・プラズマ原子分子過程ハンドブックの内容を分かりやすく学べる講習会を有料で開催をしてはどうか
- ・原子分子データがどのように使われるのかが分かりにくい
- ・エンドユーザーから見ると原子分子過程データのニーズは高い
- ・アンケートの結果を見て決めることについて承認された

その他、

- ・佐々木から、フォーラムセミナー実施報告とセミナー参加者のアンケート集計結果の報告があった。
- ・フォーラムについて宣伝するための小冊子作成について説明があった。